

7. 当院における CT 読影レポート既読管理の取り組み

小国町立病院 ○伊藤 真理 今野 祐治

【背景】

厚生労働省より、2017年11月に「画像診断報告書等の確認不足に関する医療安全対策について」の注意喚起が図られ、さらに2019年12月に事務連絡「レポート等の確認不足に対する医療安全対策の取組について」が都道府県に発出された。

【目的】

2018年にCT読影レポート既読管理システムを構築し、改良を行いながら運用してきた取り組みを報告する。

【方法】

東北メディサ製の既存のレポートシステムをカスタマイズし、当院独自の既読管理システムを構築し、各電子カルテ端末にショートカットを作成した。

【結果】

当院の特徴である、常勤放射線科医の不在と多数の非常勤医の2点について考慮しながらシステム構築や運用の取り決めを行なった。既読登録は、ショートカットからログインし、一覧表 (Fig.1) のレポートマークをクリックすることで、レポートが閲覧でき、1人が既読登録をすると、未読から既読のステータスに変わる流れとした。当院の「既読」の定義を常勤医と検査依頼医のダブルチェックとし、最終的に放射線技師が既読になったこととカルテに結果の記載があるかを確認し、「完了」とする運用とした。常勤医はシステムを利用してチェックを行っているが、検査依頼医は非常勤でありシステム利用への誘導は難しく、未読リスト (Fig.2) を配布し、チェックの徹底を図っている。レポート結果が急ぎの対応を必要としない場合は、患者の診察日に合わせ、リスト提出先 (Fig.3) に準じて配布しているが、所見があった場合は、同じ診療科の医師に早めにレポートの確認を依頼している。

【まとめ】

当院の診療は、常勤医の他に多くの非常勤医によって行われているため、運用を取り決めする際に、それぞれの診療科や医師に合わせた工夫が必要であった。運用を開始して3年経過するが、レポートの確認不足によるアクシデントは発生していない。2022年度の診療報酬改定で報告書管理体制加算が新設されたが、当院は対象外であった。しかし、今後も随時ブラッシュアップを行いながら、院内の医療安全に貢献していきたい。

Fig.1 既読管理システム画面 (一覧表)

第三内科 先生		発行日時: 2022/03/31 14:40	
*読影レポートが揃っていますので確認下さい。			
*確認が終わりましたら、下記の表にチェックを入れて放射線科に選択して下さい。			
検査日	患者ID	氏名	検査項目
2022-03-27			頭部、頸部+骨盤部、単純のみ
2022-03-28			頭部、頸部、単純のみ

Fig.2 未読リスト

依頼医	リスト提出先
常勤医	常勤医
研修医	指導医
非常勤医(定期)	非常勤医(定期)
土日祝日当直医	常勤医

Fig.3 未読リスト提出先